

1	《軽登山》 来拝山 (899m)		要：下見	
	～ロープや岩を伝うおもしろさ～			
主なねらい ◎たくましい体と心を育てる		適 期	4月～11月	
		所要時間	3～4時間 午前・午後だけでも可能	
		対 象	幼児～	
準備物	個 人	学校・団体	自然の家	
	○服装・装備 ・長袖、長ズボン、トレッキングシューズ、はき慣れた靴または長靴、軍手、帽子 <u>※黒っぽい色の服装は避ける（ハチ対策）</u> ・荷物はザック1個にまとめる ※両手が自由に動かせるように ※水筒を肩から下げないように注意 ・天候の急変に備え、雨具も用意 ・（弁当）、水筒等 ・夏場は虫よけスプレーがある方がよい	・関連学習に必要な用具 ・ライト	・無線機 ・すず ・トランシーバー ・地図 ・コンパス ・関連学習に必要な道具等	



1 活動の留意点

- 一斉活動の場合・・・隊列を組む、指導者の位置
- 班活動の場合・・・チェックポイントの位置

2 配慮する事項

(1)安全な登山のために

- ・先頭と最後尾（無線機携帯）には、実地踏査した指導者を配置すると指示が出しやすくなります。
- ・一斉活動の際には、数か所の分岐点があるので、指導者を先頭部分に多く配置すると対応しやすくなります。列のところどころに指導者を配置することも忘れないでください。
- ・装備の点検を忘れずに行ってください。

(2)楽しくめあてを達成できる登山のために

◎ [来拝] と付記されたオレンジボード標識が、来拝山の登山コースです。

*南尾根ルート・・・1番の標識から登ります。（5番の標識が頂上）[普通はこのルートに登りに利用]

*東尾根ルート・・・10番の標識から登ります。（5番の標識が頂上）

- ・本格的な登山への橋渡しとなる初歩的な登山（半日の活動）ですが、岩場やロープが随所にあり、子どもたちも面白さを味わいながら歩くことができます。

3 学習・体験のポイント

- ・全コースを通して、植物観察をすることができます。
- ・季節によっては、ニホンザルやカモシカを見かけることもあります。
- ・雪の時期にはカモシカやウサギ等の足跡を見ることもできます。
- ・2番標識のところに崩れた場所があるので、注意して通るよう指導してください。
- ・2番標識の先で、木の間から「自然の家」が見えます。みんなで呼びかけてみましょう。
- ・登山道には、転落防止のロープが張ってあります。
- ・登山道には、3か所の大きな岩場があり、3点支持の体験ができます。
- ・5番標識、独立峰来拝山（899.3メートル）の山頂です。360度の展望が可能で、東に立山連峰、西に富山平野や富山湾、能登半島を一望できます。
- ・6番標識は、別名「一服来拝」。ここからの眺めは素晴らしい！
- ・よくすべる急斜面が多くあります。前後の間隔を空け、ゆっくり降りるよう指導してください。
- ・8番標識（かんば平～大日の森）は、迷いやすい場所です。計画に沿った方向に間違いなく進むように、分岐点を全体が通り過ぎるまで指導者を配置してください。
- ・8番標識の場所から、いくつかの下山ルートがあります。活動のねらいや参加者の実態に応じてルートを選択してください。
- ・9番標識（大日の森入り口）、ここも迷いやすいです。8番標識と同じ対応をしてください。
- ・10番標識（城前峠）、来拝山登山の終了地点です。ここには、仮設トイレが設置されています。ここから「自然の家」まで、林道を歩いて30分ぐらいです。
- ・9番から大日の森尾根ルートで帰ってくることもできます。

4 その他

- ・「大日の森植物探検」「＜軽登山＞－前長尾山」などとの組み合わせで、1日の活動にすることも可能です。
- ・一斉登山の際には、登山を苦手とする児童・生徒を先頭部分に配置する等の具体的な手だても考慮しておいてください。
- ・お弁当を持って行く場合は、頂上や大日の森、城前峠での昼食となります。

